

# 公益財団法人第五福竜丸平和協会

## 2023(令和5)年度事業報告

2023年4月1日～2024年3月31日

2023(令和5)年度は、コロナ感染が完全に払拭されてはいないものの、社会活動は徐々に平常時にもどり、来館者、学校見学が順次回復していった。年間来館者は、97,035人(前年度65,957人)となり、コロナ感染拡大前の水準にほぼ戻る状況であった。修学旅行や社会科見学が最も多い5月の来館者は、11,979人であった。10月、11月の来館者も1万人を超えた。

来館者の動静でとりわけ目を引いたのは、海外からの観光客の来館で、数名ずつではあるがほぼ毎日来館した。また、外務省が主宰する『核兵器のない世界』に向けた国際賢人会議』委員や、国連軍縮フェローシップ・プログラムの参加外交官ら、さらに核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)の事務局長やマーシャル諸島共和国政府大統領特使の来館もあった。

春の展示替えとして、2階部分の展示を更新し、秋の展示替えでは、第五福竜丸保存の呼びかけから55年を記念する企画展「みんなの船、第五福竜丸」を開催した。

ビキニ水爆実験被ばく70年となる2024年の「3・1ビキニ記念のつどい」は、明治学院大学国際平和研究所と共催で3月3日(日)に開催した。人類学者の山極壽一氏を講師に150人が参加した。

第五福竜丸がビキニ水爆実験に遭遇してから70年となる本年はビキニ被災並びに第五福竜丸に関連した多数の報道が新聞、テレビ等で行われた。

また、第五福竜丸建造から76年、展示館開館から47年を経て、第五福竜丸船体の維持・管理が課題となっている。2023年4月より、館内及び船室内の温湿度の記録と、木栓や木片など船体からの落下物について、東京都に対し定期報告を行うこととした。展示館施設、船体、エンジンの保存など継続的検討が求められる。

「70年事業」のプレ企画として、劇団・燐光群の「わが友、第五福竜丸」の公演(全国7か所)を共同開催した。

2023年度は、学芸員資格取得のための博物館実習を当館として初めて受け入れ、2名の大学生が実習を行った。

## 1. 公益法人のかなめの事業

### ① 展示館業務

- ・ 当年度、展示館管理は定められた休館日を除き、309日間実施した。
- ・ 来館者総数は97,035人(前年度65,957人)、団体見学数は420団体(うち、小学校39団体、1,980人、中学校74団体3,195人、高校24団体、789人、大学53団体648人、その他の青少年団体23団体602人、一般団体207団体3,173人)、一般来館者は86,648人であった。
- ・ 学校団体への展示解説は、混雑時には屋外で実施し、小グループに分け時間差をつけ入館するなど、混雑への配慮を行った。また、児童、生徒、学生らに対して、理解を促進するためのサポートを行った。

- ・ 学生のレポート課題、卒業論文、自由研究への助言のほか、研究者へのレファレンス対応などをおこなった。
- ・ カラー版「展示館のしおり」を広報宣伝に活用した。学芸員の講演会場、パネル貸出会場での配布などにも活用した。歴史教育者の集会では展示館と貸出資料などを紹介したリーフレットを配布した。
- ・ 第五福竜丸展示館、第五福竜丸平和協会の取り組みを広報する「福竜丸だより」を計6回発行した。(各1000部、賛助・ニュース購読会員、協力者・協力団体等に郵送。館内外での配布)
- ・ 7月には2022年度の年次報告書を発行し配布した。

## ②来館者へのコロナ感染等への対応

- ・ 職員は、ひきつづき健康管理とマスク着用を励行した。
- ・ 入口に注意喚起の掲示を設置し、手指消毒を励行した。
- ・ 館内の換気に留意し、密集への注意をよびかける看板を4か所に置いた。
- ・ トイレに液体石鹸、ペーパータオル、ごみ箱を設置し、手指洗浄のための啓蒙ポスターを掲示した。
- ・ 受付カウンターにアクリル板は継続して設置した。

## ③ 企画展・展示替等の取り組み

### 第1回展示替え 常設展示(2階)のリニューアル(2023年7月より)

2階部分ではこれまでビキニ事件の背景として、戦後日本の遠洋漁業やその歴史に関する展示を行ってきた。これを最新の情報に更新、建造から保存までの歴史をたどる展示に再構成した。また、第五福竜丸乗組員の大石又七さんの証言映像や氏製作の第五福竜丸模型、モールス通信のための電鍵や通信機を引き続き展示し、新たな解説パネルを追加した。

### 第2回展示替え 2023年11月3日～2024年3月24日

#### 保存の歩み55年「みんなの船、第五福竜丸」

第五福竜丸の前身である東京水産大学練習船「はやぶさ丸」が廃船となり夢の島に放置されてから、展示館開館までの市民らによる保存の取り組みを年表形式(幅4メートル、2本のバナー)でたどる企画展示を行った。また保存運動を中心的に担った広田重道氏による油彩画3点を展示した。

### 3・1ビキニ記念のつどい

2024年3月3日、明治学院大学白金校舎(東京・港区)で「3・1ビキニ記念のつどい」を開催した(共催・明治学院大学国際平和研究所)。第一部は山極壽一さん(総合地球環境学研究所所長)による記念講演。第二部は、上浦智宏さん(グラフィックデザイナー)、奥野華子さん(学生/Fridays for Future Hiroshima)をまじえたトークを行った。150名を超える人が

参加した。マーシャル諸島共和国政府核委員会の Ariana Tibon 代表よりビデオメッセージが送られ会場で披露した。

#### ④ 第五福竜丸・ビキニ事件、世界の核被害を伝える取り組み

現物資料・展示用パネルの貸し出し、映画「西から昇った太陽」の普及に取り組んだ。学芸員が非常勤講師を勤める大学（中央大学、立教大学）での講義のほか、ゲストスピーカーとしての講義、市民団体主催の学習会での講演等で第五福竜丸、ビキニ事件について伝える機会をもった。

##### 【資料貸出・パネル展等】

4月17日～4月28日	ビキニ被災支援室戸の会
4月30日	Know Nukes Forum 2023
6月30日～7月7日	本庄市
7月20日～8月31日	浦安市
7月26日～7月31日	原水爆禁止西宮協議会
8月4日～8月6日	むさしの科学と戦争研究会
8月10日～8月16日	大和市
8月15日～	Musealia “The Berlin Wall A Divided World” (スペイン)
8月17日～8月20日	静岡YWCA
9月1日～9月29日	釧路町役場
9月23日	横浜北部原水協
9月23日	築地にマグロ塚を作る会（「西から太陽が昇った」上映）
12月1日～5月26日	静岡平和資料センター
12月6日～12月17日	茨木市立総持寺いのち・愛・ゆめセンター
12月10日～12月13日	教科書問題を考える市民ネットワーク・ひろしま
2月1日～2月10日	秩父農工科学高校（「西から太陽が昇った」上映）
2月24日～6月30日	焼津市歴史民俗資料館
2月26日～3月4日	ユーコープかながわ 横浜中1エリア ほどがや平和実行委員会
2月28日～3月1日	原水爆禁止日本協議会
2月29日～3月13日	新日本婦人の会 美濃加茂支部
3月11日～3月15日	帯広原水協

##### 【調査研究活動】

4月14日～25日、蓮沼佑助学芸員をマーシャル諸島共和国スタディツアーに派遣した。首都マジュロにおいて政府核員会（National Nuclear Commission）を表敬訪問し意見交換、マーシャル諸島短期大学での講義（Nuclear issues in the Pacific region）内での特別講義（日本における水爆実験の影響と第五福竜丸展示館の活動）、ほか関係者との交流を通して、核実験被災地の人びととの繋がりをつくった。

なお、2004年第五福竜丸元乗組員・大石又七さんがマーシャル諸島ロンゲラップ環礁の人びとに寄贈した模型船が3月1日の式典で展示されるにあたり、現地で修復されることになり、平和協会より資料および修復材料等を提供し協力した。模型船は2024年3月1日に公開された。

8月22日～23日、昨年の室戸市での調査にひきつづき、市田真理学芸員は主に高知県土佐清水市在住の被災船員の聞き取りに参加した。また大阪、愛知、富山、岡山、広島、高知、長野の新聞等を調査し、新たになに得られた知見を講演等で紹介した。

企画展「みんなの船・第五福竜丸」の準備にあたり、6月11日、保存運動に関わった山村茂雄顧問から聞き取りを行い、当時の写真や資料のデジタル化に着手した。1月27日、高校生の頃に保存運動に参加した山崎彰さんからお話をうかがった。

## 【教育普及活動】

### <主な講演・講話>

4月17日	マーシャル諸島短期大学特別講義
5月9日, 16日, 23日	明治学院大学 広島・長崎講座
5月20日	平和・核廃絶フォーラム（ピースボート, パルシステム東京, Know Nukes Tokyo 主催）
5月24日	田園調布学園高等部
5月26日	早稲田大学文化構想学部特別講義
6月7日	大阪平和人権センター
6月12日	広島原水禁
7月8日	東京平和運動センター
7月13日	神奈川平和運動センター
7月30日	アートプロジェクト「記録から表現をつくる2023」（一般社団法人NOOK）
8月1日	富山県原水禁「不戦の誓い集会」
8月4日	大阪医療生協平和集会
8月5日	大阪いずみ市民生協平和集会
8月6日	むさしの戦争展
8月18日	「牛乳パックでつくる第五福竜丸工作教室」（コープみえ, ㈱ゴーリキ）
10月6日	マートル・アーツ「同郷同年」のアフタートーク
11月6日	東アジア環境社会学会エクスカージョン
11月13日	神奈川学園中学校
11月24日	青山学院大学特別講義
11月30日	埼玉土建主婦の会講座
12月10日	教科書市民ネットひろしま・JCJ 主催学習会
12月12日	信州大学人の会シンポジウム
12月15日	世田谷区立上祖師谷中学校
1月14日	寝屋川戦争展・原爆展
1月20日	高知県民のつどい
1月26日	ポリタスTV
2月18日	東京歴史教育者協議会研究集会
2月21日	横浜市立鶴見中学校
2月23日	3・1ビキニデー広島県集会
2月24日	北海道ビキニデー集会

2月29日	3・1ビキニデー原水協集会分科会
3月10日	静岡・エバーグリーン
3月14日	朝日新聞ポッドキャスト
3月16日	ビキニ被災70年第五福竜丸「発見」57年学習会
3月23日	核なき世界基金 シンポジウム
3月26日	ラジオR1 NHKジャーナル

<執筆>

- ・「月刊 人権と部落問題」4月号 「学びと発信を若い世代とともに」（蓮沼佑助）
- ・カトリック正義と平和協議会「JP通信」連載（市田真理）
- ・「図書新聞」書評『黙殺された被曝者の声』（市田真理）
- ・全日本教職員組合『クレスコ』「わたしの出会った先生」（市田真理）
- ・歴史教育者協議会『歴史地理教育』「ビキニ事件を考える」（市田真理）
- ・平和・国際教育研究会『平和のために』「第五福竜丸のつぶやきに耳を傾ける」（市田真理）

<オンラインによる発信>

- ・ビキニ水爆実験被災70年に際し、70年前のできごとを一次資料や関係者に手記等に基づいて、「第五福竜丸航海記」と題してInstagramで発信を始めた（令和6年1月8日より令和7年1月5日までの順次公開予定）

## ⑤船体・エンジン等の保存のための検討作業

- ・2023年度は8月24日に第7回の第五福竜丸船体等保存検討委員会をオンラインで開催した。
- ・8月26日には博物館実習の学生やボランティアの協力を得てエンジンの清掃及びタンニン酸とエタノールの混合溶液の塗布を行った。
- ・10月5日には船体前部の魚倉への立入調査を行った。前部魚倉は甲板から垂直に降りる以外立ち入る事ができず、1985年の改修工事以来内部の状態が確認できていなかった。この調査で、改修工事で魚倉内側の壁面の状態や内部に収納された物品（改修工事で取り外された部材等）の状態確認を行った。
- ・11月23日にはボランティアの協力を得て、船体甲板上の清掃を行った。

## ⑥ その他

【特記事項】

4月4日	賢人会議に出席するロシアのAnton Khiopkovさん（露エネルギー・安全保障研究センター長）来館
4月8日	展示館ボランティア研修 東京大空襲・戦災資料センター見学
4月13日	イギリス・シェフィールド大学東アジア研究室の教員・学生12名が来館
4月14日	蓮沼佑助学芸員・マーシャル諸島共和国訪問。政府核委員会、マーシャル諸島短期大学など訪問（～25日）
4月28日	アメリカ・アーカンソー州でMarshallese Educational Initiativeを主宰するBenetik Kabua Maddisonさん来館

4月30日	都内で開催された Know Nukes Forum 会場に 豊崎博光さん撮影「世界のヒバクシャ」写真パネルを展示
5月6日	展示館前ひろばで開催された国民平和大行進出発式で、奥山修平代表理事が挨拶
5月8日	マーシャル諸島共和国国家核委員会の Evelyn Ralph さん来館。明星大学竹峰ゼミ、第五福竜丸展示館サポーターズと交流。翌日、マーシャルを長く取材してこられたフォト・ジャーナリストの島田興生さん、豊崎博光さんらと館内で交流
5月14日	奥川稀理さん（東京学芸大学）が博物館実習開始
6月3日	全国視覚障害者協議会女性部来館、大石又七さんの模型船の触察
6月11日	山村茂雄・平和協会顧問に、第五福竜丸保存運動当時の写真・資料を見ながらお話を聞くプロジェクト 第一回目実施
6月20日	映画『西からのぼった太陽』の Keith Reimink 監督とアメリカの小中学校教員ら 11 名が来館
6月25日	中央大学・清泉女子大学合同見学会。松本いく子さん（上智大学博士課程前期）によるマーシャルの講演とグループワーク。共同通信・時事通信・中国新聞が取材
6月29日	安田和也専務理事が焼津市長を表敬訪問
6月30日	山本義彦顧問、安田専務理事が焼津市主催「6・30 平和集会」に参加
7月1日	東京都港区の平和青年団、見学とワークショップによる研修
7月2日	博物館実習生・奥川稀理さん企画の見学イベントに大学生など 40 名が参加。映画監督・大川史織さんと市田真理学芸員のトークなど。NHK首都圏が取材
7月8日	東京都障害児学校教職員組合の見学会。大石又七さんが模型船を創るきっかけとなった高橋しのぶさんが参加
7月12日	アメリカ・ラトガース大学「戦争と記憶」を学ぶ大学生 16 名来館
7月15日	インナートリップ国際交流協会支援の留学生グループ、高校生平和大使、「ラッキー・ドラゴン～第五福竜丸の記憶」を演奏する都内の中学校吹奏楽部員など団体見学が多い一日
7月17日	日本山妙法寺平和行脚。安田専務理事が挨拶
7月29日	NOOK・アーツカウンシル東京のアートプロジェクト「記録から表現をつくる 2023」の参加者が見学・ワークショップ参加後、それぞれ作品制作と発表
8月6日	NHK「こころの時代」でフォト・ジャーナリスト豊崎博光さんのインタビュー番組「見えない痛みを託されて」放送
8月20日	佐藤優さん（広島市立大学）が博物館実習開始
8月22日	牛乳パックでつくる第五福竜丸工作教室 小学生など 7 人参加
9月1日	立命館大学国際平和ミュージアムボランティアガイド来館
9月4日	展示館ボランティアの会結成 20 年感謝のつどい、食事会（コロナ禍で 2 年延期したもの）。協会より記念品・感謝状を贈呈
9月18日	展示館サポーターズメンバーで久保山愛吉記念碑とマグロ塚周辺の草取り、碑の清掃
9月23日	第五福竜丸無線長・久保山愛吉さんの命日。久保山忌句会、平和を語る第五福竜丸のつどいなどの参加者が記念碑に献花

9月29日	外務省軍縮不拡散・科学部のアテンドで国連軍縮フェローシップ参加の外交官（バーレーン王国、南アフリカ共和国等23か国）が来館
10月6日	スペイン DAI FILMS の Jhonathan Milles 監督が本多猪四郎監督のドキュメンタリー映画のため、評論家・小林淳さんと市田真理学芸員インタビュー撮影
10月19日	劇団「燐光群」の俳優とスタッフが来館。「わが友、第五福竜丸」の広報写真撮影
10月27日	イラストレーター故・高山文孝さんの描いた第五福竜丸の「絵とき」が、田園調布学園美術部により修復された
11月2日	英・カーディフ大学博士課程で平和博物館を研究する学生が聞き取り調査のため来館、蓮沼学芸員が対応
11月6日	東アジア環境社会学会のエクスカージョンで中国、台湾、韓国からの研究者が来館。見学後ディスカッションをおこなう
11月11日	「ビキニ水爆実験被災70年」にむけて、第五福竜丸平和協会理事、評議員、監事、顧問の懇談会を開催。「70年企画」についての記者ブリーフィングに新聞社など7社が参加
11月17日 ～12月17日	劇団燐光群「わが友、第五福竜丸」公演を共催。東京10日間13上演をはじめ計7か所22公演。3,000人以上が観劇。プレトーク、アフタートークに安田和也学芸員、市田真理学芸員出演
11月25日	船体すすはらいを特別展にちなみ「第五福竜丸を美しくするつどい」として開催。学生など10名参加。時事通信が取材
12月13日	都内のインディアン・インターナショナルスクールから小学生120名が来館。東京藝術大学先端表現学科の学生が館内でワークショップ
12月19日	高校生平和大使47名（北海道、神奈川、広島、長崎など14道県）来館
1月8日	展示館ボランティアの会総会・学習会。SNS発信「第五福竜丸航海記」投稿スタート
1月11日	映画『第五福竜丸』ブルーレイ特典映像の撮影
1月17日	青年海外協力協会（JCOA）による平和構築プログラム JENESYS2023 参加の南太平洋大学（フィジー）の学生（12か国の出身）が来館
1月23日	核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）の Melissa Parke 事務局長が来館。朝日新聞、共同通信、時事通信が取材
1月27日	東京地婦連・谷茂岡会長の白寿記念会に安田専務理事出席、祝辞
2月18日	東京歴史教育協議会研究集会・見学会に56人参加
3月9日	三浦ピースデーのバスツアー43名来館
3月14日	マーシャル諸島共和国<核と人権>大統領特使 David Anitok 氏ほか3人と ICAN の川崎哲国際運営委員が来館。
3月21日	第五福竜丸をテーマにした映画「Tickling Dragon Tail」（米・2026年完成予定）の脚本家とプロデューサーが来館。資料調査など
3月23日	聖イグナチオ教会（千代田区）で開催された核なき世界基金主催イベント「世界のヒバクシャ支援に向けて」で市田学芸員がパネリストとして参加
3月24日	国立競技場で開催された「未来アクションフェス」（7万人参加）の屋外ブースで第五福竜丸パネル・世界のヒバクシャのパネルなど展示。第五福竜丸展示館のしおりを配布してアピール

---

3月26日 高校生平和集会プレ企画見学会。東京、埼玉、愛知、沖縄の高校生平和  
ゼミナール関係者40名が来館・見学

---

#### 【ビキニ70年プレ企画】

燐光群「わが友、第五福竜丸」製作に関し資料提供し、東京、愛知、静岡、大阪、岡山、高知、和歌山での上演を共同開催した。

8月9日吹田メシアターで講演とプレトーク、8月24日高知県民文化ホールで講演とプレトーク、11月19日座・高円寺（東京）でアフタートーク、11月27日岡山芸術創造劇場で講演とプレトーク。

#### 【対外活動】

- 5月6日 国民平和大行進出発式で奥山代表理事が挨拶
- 2月28日 日本生活協同組合連合会「2024ピースアクションキックオフ集会」  
市田真理事務局長ビデオメッセージ
- 3月1日 久保山愛吉墓前祭で山本義彦顧問が挨拶
- 3月2日 Marshalllese Educational Initiative 主催 Nuclear Legacy Week2024  
市田真理事務局長ビデオメッセージ

#### 【取材協力・資料提供】

- 平凡社 別冊『太陽』石田徹也特集 資料提供
- 中国新聞社 写真提供
- 東京書籍 デジタル教科書「新編 新しい道徳3」映像提供
- 東京書籍 デジタル教材NIMOT 映像提供
- PHP 研究所『戦争はなぜ起こる？ どうすれば防げるのか？歴史と国際社会のしくみから考えよう』 資料提供
- イカロス出版『船体解剖図NEO』 取材協力
- JTBパブリッシング『るるぶマンガとクイズで楽しく学ぶ！世界の歴史』 資料提供
- 船橋二和病院健康友の会 資料提供
- 日本生活協同組合連合会ニュースレター 資料提供
- 東京海洋大学附属図書館 資料提供
- 静岡第一テレビ
- ポリタスTV 撮影協力
- 寺子屋朝日 for Teachers 取材協力
- NHK ジャーナル 撮影協力
- 未来アクションフェス 資料提供

#### 【主な報道等】

- 7月13日 共同配信 「人新世『負の遺産考える契機に』第五福竜丸関係者
- 11月13日 共同配信 （静岡新聞ほか掲載）「第五福竜丸、記憶つなぐ舞台」
- 12月16日 毎日新聞 「水爆の愚戒める宝船、ゴミ山の廃船草の根から保存実現」
- 1月16日 朝日新聞高知版 ビキニ被曝70年、反核2団体が節目に「共闘」

- 1月19日 NHK ビキニ環礁 水爆実験第五福竜丸など被ばく 被害の歴史をどう伝えていくか
- 1月23日 共同配信 「被ばくの第五福竜丸 反核へ力、ICAN 事務局長が見学
- 1月25日 中国新聞【歩く聞く考える】「ビキニ水爆被災70年」
- 2月16日 毎日新聞<アートを歩く> 「第五福竜丸 被害者は私を最後に」
- 2月20日 静岡新聞「映画『第五福竜丸』を復刻 被ばく70年事業で平和協会」
- 2月21日 東京新聞「語り継がねば 第五福竜丸被ばく70年 第五福竜丸展示館手紙3000通保管
- 2月24日 中日新聞「第五福竜丸、忘れない 被ばく70年を前に焼津で特別展」
- 2月24日 朝日新聞「2千回を越す核実験で広がる被害 ビキニ水爆実験70年、広島で集会  
朝日新聞【数字は語る】「ビキニ事件70年 日米で『死の灰』語る 世界は核実験2063回  
毎日新聞 <街角ことば拾い> 「語り部は第五福竜丸」
- 2月25日 朝日中高生新聞「核の歴史をもっと学び 考えて」
- 2月26日 ポリタスTV配信「ビキニ事件から70年 いまに続く被曝問題を学ぶ」
- 2月28日 毎日新聞「第五福竜丸被ばく70年 世代を超え残る生き証人」
- 2月29日 北海道新聞【卓上四季】「サンゴ礁の雪」  
朝日新聞「西から上がる太陽 降り注ぐ灰 第五福竜丸に始まる『唯一の願い』」
- 3月1日 朝日新聞【そもそも解説】第五福竜丸が被曝 70年前のビキニ水爆実験とは  
朝日小学生新聞「今こそ考えよう核兵器の問題」  
神奈川新聞 ビキニ被ばく70年 記憶つなぐ(3回連載)  
読売新聞(静岡版)「語り継ぐ 第五福竜丸の70年」(5回連載)  
静岡新聞【大自在】「3月1日 ビキニ事件70年」  
高知新聞【小社会】「ビキニデー」  
愛媛新聞【地軸】「ビキニ事件70年」  
琉球新報「第五福竜丸 核の怖ろしさ伝え 展示館の安田さん『今を生きる者として考えなければ』  
静岡第一テレビ「被ばくから70年『第五福竜丸事件』 その記憶を後世へつなぐ取り組み
- 3月2日 朝日新聞「天声人語」  
朝日新聞 社説「ビキニ事件70年 非核の連帯を広げよう」  
朝日新聞 第五福竜丸の記憶 SNS発信  
高知新聞 社説「ビキニ事件70年 いまこそ核廃絶へ誓いを」  
中国新聞 社説「ビキニ被災70年 深刻な核被害 伝え続けねば」  
共同通信「第五福竜丸保存に市民奔走 水爆被害70年」  
時事通信「船と歩む、核廃絶の誓い『無かったことにさせない』 第五福竜丸展示館の学芸員
- 3月4日 産経新聞 社説「第五福竜丸70年 核融合技術の平和利用を」
- 3月6日 佐賀新聞【有明抄】「ゴジラとビキニデー」
- 3月10日 信濃毎日新聞 社説「ビキニ70年 世界の核被害を見つめて」
- 3月13日 日経新聞 社説「第五福竜丸70年、非核主導を」

- 3月14日 河北新報 社説「ビキニ被ばく70年 核廃絶へ日本が先頭に立て」
- 3月17日 朝日新聞 【日曜に想う】「ゴジラは怒りを忘れない」
- 3月21日 読売新聞 核の恐怖 新世代の継承
- 3月25日 中日新聞 社説「ビキニ事件70年 核廃絶への思い新たに」
- 3月28日 NHKラジオ【NHKジャーナル】「第五福竜丸の被ばくから70年 核の脅威を考える」

\*このほか、焼津市・三浦市などでの集会、マーシャル共和国での様子など、第五福竜丸展示館・第五福竜丸平和協会以外の話題も含め多数報道された。

#### 【ボランティアの会】

- 4月8日 研修（東京大空襲戦災資料センター）
- 5月10日,7月4日,9月5日,11月9日,1月8日,3月12日  
福竜丸だより発送作業
- 9月4日 ボランティアの会20年感謝会
- 1月8日 総会・学習会

#### 【行政庁との連絡等】

委託業務定期報告 東京都建設局東部公園緑地事務所管理課  
新木場連絡会（夢の島公園施設と新木場地域企業との情報交換）隔月開催

## 2. その他の事業

- ① 書籍・ミュージアムグッズの頒布
- ② 出版事業
  - ・ 11月3日 Fukuryumaru Book vol.2 『わたしとビキニ事件』発行
  - ・ 12月1日 企画展パンフレット「世界のヒバクシャ - 核開発・核実験のもとで」発行

## 3. 法人の管理運営

当年度に以下の通り諸会議を開催した。

2023年5月3日	理事会	対面（展示館資料室）・オンライン併用
2023年5月21日	定時評議員会	評議員会（学士会館）・オンライン併用
2024年3月23日	理事会	（展示館資料室）

◇賛助会員は以下のとおりである

	2023年4月1日	2024年3月31日
賛助会員（個人）	268	262
賛助会員（団体）	54	53
ニュース購読会員	102	99

\*新規賛助会員 6人(退会者12人) 新規賛助団体0(退会1)  
新規ニュース購読会員 5人(退会者9人)

◇役員構成は以下のとおりである

理事 奥山修平(代表理事), 川口重雄, 坂野直子, 高原孝生, 西原美香子, 安田和也  
(専務理事)  
監事 浦野広明, 澤藤統一郎  
評議員 岸田正博, 高部優子, 寺嶋陸也, 中尾麻伊香, 長田三紀, 日塔和彦, 村上次郎,  
山田玲子, 若林克俊

◇事務局体制は以下の通りである

事務局長 市田真理  
事務局次長 蓮沼佑助  
嘱託(庶務) 荒木摩耶